

公表:令和5年3月24日

事業所名 とらい若草

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して十分なスペースがあり安全に過ごしやすいようにしています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		基本的にはバリアフリー化しています。	玄関に段差があり見守りが必要です。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃で清潔を保っています。また換気は常に心掛け、1日に最低4回の消毒作業を行っています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングで振り返りをし、支援の目標を常に共有しています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を実施し問題解決、業務改善に努めています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2019年3月からホームページで公開しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後実施に向け検討していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンライン研修や、機会があれば外部研修に参加して資質の向上を目指しています。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的なモニタリングと、半年ごとに支援計画を見直し、保護者と面談などを行っています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを利用して、個々にあった支援につなげています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿った内容で、活動内容のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題として支援しています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画に沿った内容で、個々の発達状況などに配慮した支援を目指しています。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間でアイデアを出し合い変化をつけながら立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとの行事を取り入れたり、地域のイベントに参加するなど工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別の課題や集団での活動において、見直しを行い計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを行い、活動内容や注意事項など共有し共通理解しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動終了後に支援経過記録表や業務日報などに記入しミーティングを行い、支援方法などの改善につなげています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			正しい記録方法を徹底し共通理解し、打ち合わせや会議等に活用しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとに支援計画の見直しを行い、新たな課題についても職員間で意見交換しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて代表者が参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			登別市児童発達支援センター及び関連機関とは電話や会議等で連携を取り支援につなげています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療機関との連携はあるが、現在対象者はいません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療機関との連携はあるが、現在対象者はいません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			関係機関や学校等との連携を取っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			関係機関や学校等との連携を取っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			登別市児童発達支援センターの訪問支援で助言を受けたり、相談をするなど連携をとっています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		今後機会があれば行いたいと考えています。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		今後も積極的に参加していきたい。	コロナ禍により中止などが多くありました。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		主に送迎時や連絡ノートなどで日頃の様子を伝え情報共有しています。課題についても共通理解をもって取り組んでいます。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		子どもの様子を共有する中で、相談などを受けるよう心掛け、必要に応じ面談を行っています。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		主に契約時に説明し理解してもらっています。質問等があれば都度説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		特に送迎時に話を聞いたり連絡ノートなどで悩みを聞き助言を行っています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		現在はしていないが今後検討していきたい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		重要事項説明書において苦情の受付について記載しています。苦情が発生した際には迅速に対応し再発防止に努めます。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		ブログで子どもの様子や日々の活動内容等を発信しています。行事予定についても都度プリント等でお知らせしています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○		雇用契約時に必ず個人情報守秘義務契約を結び注意しています。	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		分かりやすい伝達方法を工夫したり、個別に適した対応を行います。	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		コロナ禍において招待するような活動はできていません。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		各マニュアルを作成し、都度周知を行っています。保護者の緊急連絡先も管理して迅速な対応の準備もできています。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		様々な災害を想定した訓練を定期的に行っています。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○		アセスメント時に確認しています。職員間でも情報共有し理解しています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報提供により適切に対応しています。利用開始時にはアレルギー確認を必ず行っています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書を作成し、全職員で情報共有し再発防止に努めます。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に内部研修を行ったり、外部の講演会に参加するなどしています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束を行わないという考えもなっています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和5年3月24日

事業所名 とらい若草

保護者等数(児童数) 0

回収数 0

割合 0%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか						
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか						
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか						
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか						
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか						
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか						
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか						
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか						
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか						
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか						
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか						
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか						

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか						
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか						
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか						
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか						
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか						
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか						
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか						
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか						
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか						
	㉓	事業所の支援に満足しているか						

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。